

2014年(平成23年)3月1日発行

発行者:大阪府釣りインストラクター連絡機構 本部:大阪府東大阪市中小阪1-5-20 tel06-6729-9485 fax06-6729-9457(記事責任者:広報部宣問)



更なる結束を—そして未来へ。

來田 仁成 (大阪府釣りインストラクター連絡機構代表)

JOFI大阪会員のみなさま、平成25年度の終わりにあたって、数々の行事へのご協力、誠にありがとうございました。

皆様のボランティア活動への変わることない善意と、釣りの未来に向けての真摯な思いに深く感謝いたします。

さて当大阪府釣りインストラクター機構は、ここ8年来「大阪南港魚釣り園」を活動の本拠地として活発に動いてきましたが、3月末日をもって「大阪市立大阪南港魚釣り園」はその幕を閉じることとなりました。ただし、大阪市の市民サービスとしての「公園」が廃止になるとしても、この場所が「釣り場として存在する、ことには変わりなく、現在、駐車場、売店を大阪市が賃貸者を入札募集するかたちで、ある程度の管理をしていく方針ですが、管理棟の老朽化による廃止という原則に基づいて、従来のような巡回釣り指導の契約は終了することになりました。

当会としては、今後も引き続き巡回釣り指導、マナー指導を何らかのかたちで継続する意思はあり、またそのため、NPO法人釣り文化協会を窓口として財源を確保すべく努力を重ねています。

わたしたちの「公認釣りインストラクター」制度が発足した時代と現在では、一般釣り人の志向するものがかなり変化しており、ことに東日本震災以後、海と一般市民の離間はかなり顕著な現象になり、それに加えて津波対策としての防波堤かさ上げ工事なども着手される動きになっています。

また、みなさまそれぞれ思い当たる部分がおありのことと思いますが、気候の変動、大阪湾の水質の変化、すなわち一見美しく回復しているようで実は魚資源の様子が大きく変化しているように思われる現象など気になる事実が多々みられます。

しかし、その一方では、行政や、漁業者との意見交換や意識の共有の動きも現実のこととなりつつあり、私たちが平成25年度から取り組んできた「水産多面的機能発揮事業」などもその表われでしょう。

また、内水面の釣りに関しても、アユ、アマゴを中心として運営されてきた漁業協同組合でも、魚病等に関連し、水産資源の補充について新しい局面への対策が必要不可欠になってきています。

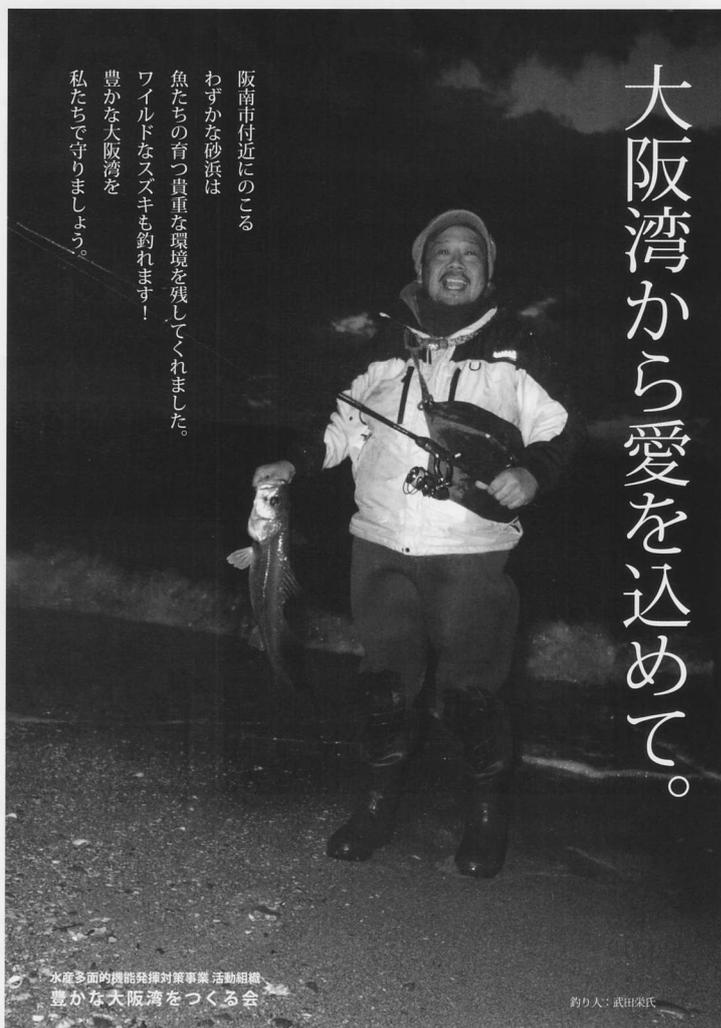
すなわち、稚魚放流で増殖義務を果たせばそれでよいという時代から、未来に向けてそれぞれの河川固有の資源を保存し、かつ再生するとの見地に立った制度あるいは運用の見直しが求められる時代を迎えようとしており、内水面漁業へ向けて、わたしたち利用者の意見を取り入れることが可能で、その上に協力していける制度の再構築が課題になってきています。

海や、川のこうした新たな時代は、ボランティア活動の有効な活かし方にかかっているといっても過言ではありません。

一般市民の釣り人よりも、わずかではあっても未来に向けた視点を持つ皆様方の存在がより重要な役割を果たす時代になってきたわけですから。

こうした時期に活動の基地を失うのは実に残念なことではありません。基地及び新体制については、まだはっきりとした線は判明していませんが、この際何としても結束を緩めることなく、未来に向けた活動を継続する必要性を強く感じています。

引き続き、心を引き締めての積極的な活動を提案していく決意と共に、会員の皆様のご協力をお願いする次第です。



大阪湾から愛を込めて。
 大阪湾付近にのこる
 わずかな砂浜は
 魚たちの育つ貴重な環境を残してくれました。
 ワイルドなススキも釣れます！
 豊かな大阪湾を
 私たちで守りましょう。

水産多面的機能発揮対策事業 活動組織
 豊かな大阪湾をつくる会

釣り人: 武田 仁成

水産庁の新規事業、水産多面的機能発揮対策が始まりました。(活動組織ポスター)
 内水面漁業においても、ボランティア活動の有効な活かし方が求められる時代を迎えています。

泉南市環境美化ハゼ釣り教室 (H25-9/7)

9月7日、男里川河口にて、泉南市 ABC 委員会・花と自然事業部主催「環境美化運動」を実施。釣り文化協会・JOFI 大阪で釣り指導のお手伝いをしました。参加者は 150 名。8 時から全員で清掃活動。11 時まで釣りをして、検量・表彰を行ないます。泉南市体育協会の北岡和明さんから「男里川の自然に親しみ、自然を大切にす
る心を育てて下さい」と挨拶がありました。ちょい投げで釣るのは初めての参加者がほとんどでしたが、指導もよろしく、魚はすぐに釣れました。エサを付けて、投げて、糸を巻き取って待っていると、ククッと魚が引いてくれました。この感触を味わうと、誰もが笑顔になります。検量に出された魚はマハゼ 55 匹、クサブグ 43 匹、コトヒキ 22 匹、スズキ 3 匹、チヌ 2 匹、ガッチョ 1 匹でした。

泉南市の向井市長も来られて表彰式でご挨拶をいただきましたが、体育協会を中心とした地域活動が、男里川の自然環境保全とスポーツ文化を守るために機能し、それを行政が支援するという理想的な形があり、私たちも学ぶことが多いイベントでした。



ボーイスカウトなにわ地区釣り章講習考査会 (H26-9/8)

9月8日、前日からの雨が降り続いていましたが、早朝より日本ボーイスカウト大阪連盟なにわ地区釣り章講習考査会会場の岬町立淡輪公民館に向かいました。受講者は 27 名。教室は満席でした。今年も JOFI 大阪より「釣り検定初級認定証」を手渡すことになっており、理解度確認試験の状況が気になりましたが、幸いなことに全員がテストに合格することができました。午後から、ボーイスカウトならではの「道具にたよらない魚の獲り方」など特別講義もあり、私たちも勉強になりました。

15 時から淡輪漁港で実釣考査がありました。「魚種にかかわらず一匹の魚を釣り上げる」ことが釣り章合格の条件となっていますので、インストラクターも頑張りましたが、なかなか釣ることができません。閉会式時間を 20 分

延長しましたが、残念ながら状況は変わらず閉会式となりました。閉会式を開催している途中に、アジが釣れだしたとの声が上がリ、再度釣りを再開、10 分間くらい入れ食い状態が続きましたが、全員が「釣り章」に合格することはできませんでした。(報告：物部)



大阪湾生き物一斉調査結果発表会 (H25-9/23)

9月23日、長居公園の大阪市立自然史博物館にて「第6回大阪湾生き物一斉調査結果発表会」を開催。2013年の生き物一斉調査には20団体、1375名が参加。確認種類は660点となりました。発表会では統一テーマである「カニ」についての基調報告が行なわれました。見分け方等カニ好きに取っては興味深い内容でした。調査結果は「大阪湾環境データベース」で発表しています。2014年の調査は5月31日または6月13日頃に実施予定。



寝屋川市スポーツ少年団親子ふれあい釣り教室 (H25-9/29)

9月29日、寝屋川市スポーツ少年団「親子ふれあい釣り教室」に、今年もインストラクター11名で応援しました。参加者は50名。淡輪漁港で開催しましたが、アジの回遊が夕方5時半以降との事前調査報告により、寝屋川市役所での集合時間を1時間程度遅くして、

10時出発。現地には11時半頃に到着しました。

昼食後、釣り教室を開催しました。釣りの基本的な事項の説明から自分を海から守る安全のためにすることなど、特にライフジャケットの重要性や着用方法を説明し、危険な魚などを実際の魚を見ながら確認。清掃作業のあと、釣りを開始。最初はハゼ、ハオコゼ、スズメダイなどが釣れるだけでしたが、4時過ぎ頃から15~20cmのイワシが釣れ出しました。予想外のイワシに子供たちも喜びの声を出しながら満足顔です。5時過ぎにはアジも釣れ出し、再度大喜び。みんなが釣りを体感することができたので、6時15分に終了しました。(報告：物部)



中学生親善全釣り大会 (H25-10/5)

10月5日、大阪市青少年指導員による釣り大会が、舞洲シーサイドプロムナードおよびバーベキュー広場で開催され、釣り指導、水質調査、環境学習などでお手伝いしました。参加者は150名。各

区の中学生と指導員が釣りスポーツを体験学習し、親睦を深めことが目的。



みらい園のぞみ園釣り教室 (H25-10/6)

10月6日、大阪市立弘済みらい園のぞみ園「秋の釣り教室」を堺市・大和川河口「海とのふれあい広場」で開催しました。今年は台風が多く発生し、心配をしていますが、当日は台風もそれ、少し風が残りましたが、絶好の釣り日和となりました。今年は少し違う魚を釣ってみたいとの希望で、大和川河口に新しくできた釣り場で、サ

ビキ釣り・チョイ投げ・落とし込みなど、子供たちが希望する釣り方で魚釣りに挑戦です。

昼食をはさんで3時ごろまで釣りましたが、少ししか魚は釣れませんでした。もっと釣れればよかったのですが、釣りは自然が相手ですから、思うように釣れないこともあります。それを分かってもらただけでも良いのだと思います。次回春の釣り教室で子供たちと再会できることを楽しみに釣り教室を終了しました。(報告：田隅)



ボーイスカウト南大阪地区釣り章考査会 (H25-10/20)

10月20日、日本ボーイスカウト大阪連盟南大阪地区技能賞(釣り章)考査会に参加協力しました。当日、朝から強く雨が降り出し、釣り実習が心配の釣り章考査会開始となりました。午前中、淡輪公民館において、釣りの基本・マナー等について学んでもらいました。午後、理解度テスト終了後、淡輪漁港での釣り実習を行いました。

理解度テスト結果は全員合格となりました。釣り開始前には雨も上がり涼しく最高の釣り日和となり、子供たちに釣りの楽しさを知ってもらいました。全員

が魚を釣り上げ、満面の笑みで釣りを楽しんでいました。アジ、イワシ、カワハギ、メバル、フグ等。釣る楽しみだけではなく、料理する楽しみ、食べる楽しみも体験してもらいました。(報告：清水)



「豊かな大阪湾をつくる会」活動開始 (H25-10/8)

水産多面的機能発揮事業の地域協議会「大阪府豊かな海づくり協議会」が8月20日設立されました。協議会は、行政、専門家、市民団体、漁業組合、活動地自治体により構成されますが、大阪府では全国で唯一、釣りボランティア団体(NPO法人釣り文化協会・来田仁成代表)が協議会に加わり、釣り文化と漁村文化の交流、漁村における釣り人の安全及び秩序の形成等、様々な機能発揮を期待されています。

協議会の設立に合わせて、活動組織である「豊かな大阪湾をつくる会」も設立されました。構成メンバーは、大阪府釣りインストラクター連絡機構(JOFI 大阪)、WSS、大阪湾見守りネット、下荘漁

業協同組合、西鳥取漁業協同組合、尾崎漁業協同組合。当会は活動組織の主幹メンバーとして、実際の水産多面的機能発揮事業の運営と管理全般を行なうこととなります。つくる会の代表には、釣り文化協会事務局長・JOFI大阪広報部長である菅間修が就任しました。

8月の地域協議会設立後、9月に活動自治体との協定書を取り交わし、国への活動申請を行ない、10月8日付けにて、平成25年度の事業活動承認が行なわれました。

事業活動報告については別記します。次ページ▶

姫路こども釣り大会 (H25-10/20)

10月20日、姫路市立遊漁センターにて「平成25年度こども釣り大会」を開催。雨の中でしたが、28組65名もの参加者があり、また今年は釣りガールブームか? 元気いっぱいの子供がたくさん参加してくれました。指導員3名で釣り教室および巡回指導を行ないました。(報告:吉田実寛)



ファミリー海釣り大会 2013 (H25-10/27)

10月27日、舞洲シーサイドプロムナードの釣り場にて、ジュニア・シニアを対象とした「釣り体験教室」「水質調査」と、日本釣振興会大阪府支部「ファミリー海釣り大会2013」を併催。釣り文化協会とJOFI大阪で指導強力に当たりました。参加人数は81名。

釣り体験教室は9時から実施。海の釣りルール指導と安全教室を行ないました。水質検査講習会は10時から実施。水のイオン濃度、溶存酸素量の測定、海の色、水温等の実地検査を行ないました。大会の釣果は、アジ、サバ、



グレ、サンバソウ、キス、ツバス、ボラなど。表彰式の後、清掃活動を行ない、12時終了しました。(報告:石川)

フィッシングショーにて「大阪湾の環境」啓蒙活動 (H26-2/7-9)

2月7~9日、インテックス大阪で開催された「フィッシングショー OSAKA-2014」にて、大阪湾環境保全協議会、NPO大阪府海域美化安全協会と共同で「大阪湾の環境」コーナーを出展。併せて水産多面的機能発揮事業についての推進活動を行ないました。中央に「大阪湾から愛を込めて。」の横断幕を掲げ、稚魚放流事業、アマモ場保

全事業のパネル展示、釣りと漁村文化フォーラムのフライヤーの配布。また漁村文化学習会の実映像も放映して、来場者のみなさんに釣り場を守る取り組みを紹介しました。今年のフィッシングショーは一般公開日初日に大雪に見舞われながらも、5万人近い入場者で盛況でした。



<H25年度 水産多面的機能発揮対策事業報告>

当会、大阪府釣りインストラクター連絡機構（JOFI 大阪）は、H25 年度から 3 年間にわたり水産庁新規事業「水産多面的機能発揮対策」を、共同事業体「豊かな大阪湾をつくる会」として受託しました（10月8日付）。地域協議会にて採択を受けた実施計画に従い、地球環境保全（アマモ場保全、漂流物回収処理、稚魚放流）、漁村文化の伝承（教育啓蒙の場の提供、食文化の交流等）の事業を行ないます。年度末の 3 月いっぱいまで今期の事業は継続中ですが、実施

したものをまとめて報告いたします。主催はいずれも「豊かな大阪湾をつくる会」。事業が始まると同時に活動組織と協議会によるホームページを立ち上げ、広報活動を行なっています。

<http://osaka-yutakanaumi.org>



大阪湾への稚魚放流「キジハタ」(H25-11/13)

11月13日、キジハタ（アコウ）稚魚 1 万尾を放流しました。キジハタは定着性が強く、あまり移動をしません。釣り人によるモニタリングを実施していますので、釣られた方はご報告をいただければたいへん有難いです。また、漁業者は資源保護のため 28cm 以下の未成魚は再放流を実施していますので、釣り人も皆様も再放流にご協力ください。



大阪湾への稚魚放流「ヒラメ」(H25-11/20)

11月20日、ヒラメ稚魚 1 万尾を放流しました。ヒラメは 2 年後に 30cm、3 年後には 40cm 近くになり、放流効果の高い魚と言われています。こちらも釣り人によるモニタリングを実施しています。



アマモ場保全「西鳥取アマモ学習会&播種」(H25-12/05)

12月5日、阪南市・西鳥取漁港にて、西鳥取小学校の子供たちとアマモの苗床つくりと紙粘土を使った種まきを行ないました。苗床は学校の教室で育てて 3 月頃に移植します。参加者は 40 名。大阪湾にアマモ場が増えますように！



アマモ場保全「里海公園アマモ学習会&播種」(H25-12/15)

12月15日、せんなん里海公園にてアマモ播種&苗床づくりイベントを、ワカメを育てるイベントと併催で行ないました。参加者は 80 名。最初に藻場の役割、アマモ・ワカメについて鍋島先生の楽しいお話をお聞きしました。そのあと苗床つくり、紙粘土への貼り付けを行ない、種を投げ入れました。苗は春まで育てて移植する予定です。



アマモ場モニタリングを実施 (H26-02/17)

2月17日、アマモ場のモニタリングを西鳥取海域及び里海公園海域にて実施しました。いずれの海域も昨年 12 月に紙粘土による播種活動を実施した場所です。この日の水温は 8℃。西鳥取では 1.5m 四方ほどの群生が見つかりました。順調に育っているようです。里海公園ではなかなか見つからず、時間をかけて小さな株を 2~3 確認できた程度ですが、底質を改善する必要性等、貴重なモニタリングができました。



<H25年度 水産多面的機能発揮対策事業報告>

漁村文化学習会「尾崎の漁師さんと語ろう！」開催 (H25-11/08)

11月8日、阪南市・尾崎港にて「大阪湾の釣りとお漁村文化学習会」を開催しました。午前中は漁港で環境に優しい釣り漁具研究を兼ねた釣りを行ない、釣果はハゼ、キス、メバル、タケノコメバル、タコ、クロダイなどでした。午後から組合事務所内で「漁師さんと語ろう！」会を実施。佐藤組合長から「今日は尾崎周辺の漁についてちょっと聞いてもらいたいと思ってる。今日の釣りはどうやった？」と話を進めて下さいました。尾崎の漁業、獲れる魚、魚の旬、値のよい魚、ガッチョが減った理由、海底を耕す理由、森づくり、昔の大阪湾、埋立によって変わったこと、ルアーの危険、釣りマナーなど、貴重な話をお聞きできました。



漁村文化学習会「下荘の漁師さんと語ろう！」開催 (H25-12/12)

12月12日、阪南市・下荘漁港にて「大阪湾の釣りとお漁村文化学習会」を開催しました。釣れた魚はタケノコメバル、ソイ、マハゼ程度でした。午後から組合の協力で「地もの水産物試食会」を実施。アカシタの一夜干し、取れたてのマアジ、タコ飯のおにぎりなど、漁村ならではの取れたての魚を味わいました。大変に美味でした。そのあと漁協事務所にて「漁師さんと語ろう」会を開催。まず最初に漁師さんからの問題提起、みんなに考えてほしいことについてお話がありました。漁師さんが取り組んでいる「環境を守る」という大きなテーマについての話と、海を利用する際に考えてほしい「ルールとマナー」の問題でした。内容は「漁村文化トーク集」としてまとめました。釣り人が気をつけなければいけないことが語られていますのでぜひご覧ください。



漁村文化学習会「西鳥取の漁師さんと語ろう！」開催 (H26-1/19)

1月19日、阪南市・西鳥取漁港にて「大阪湾の釣りとお漁村文化学習会」を開催しました。寒さが厳しく、午前中の釣りは、シーバスが1匹かかった程度で終わってしまいましたが、今回も漁協さんの協力で、「漁師さんと語ろう会」の前に、「地もの水産物の試食会」を実施していただきました。特産の獲れたてのワカメしゃぶしゃぶ・海苔の佃煮・板海苔、しらす干しなど。お米もポン酢も地元のもので、大変に美味しく、驚きました。大阪産、やばいです！「漁師さんと語ろう」会では、西鳥取の漁について教えていただくとともに、大阪湾のノリ養殖の歴史、赤潮の歴史、原因、自然環境の移り変わり、釣り人の安全とマナー意識、環境教育など、多岐にわたる漁師さんの真実の意見をお聞きすることができ、参加した釣り人は皆大いに感銘を受けられたようです。



漁村文化トーク集は3/9「漁村文化フォーラム」で配布します(100部限定)。また、ホームページからダウンロードすることができます。大阪府豊かな海づくり協議会 <http://osaka-yutakanaumi.org> へ。

お知らせ

第1回「釣りと漁村文化フォーラム」開催します！

3/9（日）岸和田市浪切ホールにて「釣りと漁村文化フォーラム」を開催します。

釣り人と漁業者が力を合わせて「大阪湾の環境を良くしよう！」という初めての試みです。多数のご来場をお待ちしています！



このところ大阪湾に
タケノコメバルが増えてきました。
反面、アブラメやガシラは少なくなつて…
悲しむべきか、喜ぶべきか？
何故そうなつたのか？
この海を守る為に、
釣り人と漁師さんが語り合う機会を
持つてはありませんか。

大阪湾から愛を込めて。

3/9 sun. 12:30~

岸和田市 浪切ホール
[釣りと漁村文化フォーラム] 開催！

水産多面的機能発揮対策事業 参加者募集中！

漁師さんと語ろう

釣り文化フォーラム

釣り人と語ろう

2014年3月9日（日）

場所：岸和田市 浪切ホール 4階 交流ホール

岸和田市港緑町 1-1 tel.072-439-4173

時間：12時30分～15時30分

主催：豊かな大阪湾をつくる会

参加費：無料（定員100名）

panelist：来田仁成（釣り文化協会）、武田栄（釣り人）、赤木光広（釣り人）

予定 佐藤保（尾崎漁協）、岸本義光（西島取漁協）

西澤勝（下庄漁協）、永野勝之（岸和田市漁協）

鍋島靖信（大阪府立環境農林水産総合研究所）

上南木昭春（大阪府立大学大学院生命環境科学研究所教授）敬称略

釣り人×漁師×会場 トークショー

[大阪湾の魅力を語る]

[大阪湾の漁村文化を語る]

ガッチョの
唐揚げは？
マコガレイの
お刺身は？

大阪湾で
一番釣れる場所は
どこやねん？



食文化交流イベント

岸和田市漁協＝

イカナゴが旬！

尾崎漁協＝

大阪湾名物 尾崎干しとは？

西島取漁協＝

大阪産海苔の旨さよ！

下庄漁協＝

あつと驚くアカシタ絶品料理

大阪府豊かな海づくり協議会 HP の [予約申込フォーム] から申込受付中！

<http://osaka-yutakanaumi.org>（問合せ：090-1902-2833 釣り文化協会事務局）

釣り文化フォーラム【参加申込書】

氏名	連絡先 (TEL)
住所	
アンケート	大阪湾を代表すると思う魚は？ []
	大阪湾で一番好きな所は？ []

※事前申込をいただいた方には「漁村文化トーク集」を差し上げます。

FAX での申込先＝059-261-4770 釣り文化協会事務局まで。

お知らせ

[釣り人によるモニタリング] 実施中！

放流した魚（キジハタ・ヒラメ）の追跡調査を実施しています。

放流地点は阪南市・尾崎～箱作の地先です。

魚の写真と釣った状況をお知らせ下さい！

記念品進呈致します。

送り先：釣り文化協会事務局 ▶ jimukyoku@turibunka.or.jp

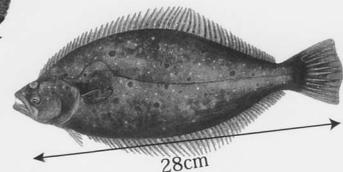
問合せは：事務局 tel.090-1902-2833

[未成魚再放流] のお願い

キジハタ・ヒラメは成長が早く、2-3年で

成魚となり産卵ができる個体となります。

28cm以下の未成魚は再放流をお願いします！



H26年度も水産多面的機能発揮事業を実施します！

（4月に計画策定、6月頃から順次実施）

稚魚放流＝6月マコガレイほか、9月キジハタを予定▶▶▶放流作業体験できます！事前申込下さい（人数限定）。放流の日程をお知らせします※

大阪湾の釣り文化学習会＝7月～9月開催予定

アマモ場保全活動＝6月種取りと育成調査、11月播種、2月モニタリング予定

漁村文化フォーラム＝11月開催予定

海岸清掃＝夏頃に開催予定

（※申込先：NPO 法人釣り文化協会事務局 fax059-261-4770/mail:jimukyoku@turibunka.or.jp）

お知らせ

3/23 自然海岸を守ろう＜漂着物回収処理＞参加者募集！

JOFI 大阪・釣り文化協会では、釣り場環境保全活動として「大阪湾 53 ピックアップ環境学習会」を 2006 年から 8 年間続けてきましたが、今後は 53 ピックアップに参加していただいたメンバー・団体を基盤に、新たな体勢で取り組むこととしました。今までは大阪湾港湾部埋立地を中心に活動していましたが、大阪湾再生連絡会（2009 年度～）、大阪市の港湾施設利用指針（2010 年）、防波堤多目的利用に係るガイドライン（2012 年 8 月）など、まだまだゴミはなくなりませんし、釣りが制限されている場所も多いですが、釣り場環境保全活動において一定の成果を得ることができましたので、次の段階として、漁業者と共同で、阪南市にわずかに残る大阪湾の自然海岸を守る活動に取りかかります。まずは「漂着物回収処理」活動を実施します。自然海岸を美しく保つ心を育てることで、魚たちが育つ環境（砂浜、藻場、浅場等）を取り戻すことにつなげたいと思います。皆様のご参加をお待ちしています。



「阪南市の自然海岸清掃活動」

日程：平成 26 年 3 月 23 日（日曜日）

場所：① 尾崎 尾崎港～男里川（尾崎町 3 丁目～8 丁目）約 1.5km

② 西鳥取 西鳥取漁港～住吉大社（鳥取～新町）約 0.8km

③ 下荘 箱作海岸約 0.3km / 貝掛海岸約 0.3km

時間：前半 尾崎漁港集合 8 時～10 時迄

後半（2 地域に移動）下荘漁港集合 10 時 30 分～12 時迄

西鳥取漁港集合 10 時 30 分～12 時迄

参加者には記念品進呈します！

車でお越しの方は駐車場を確保しますのでお申込下さい。

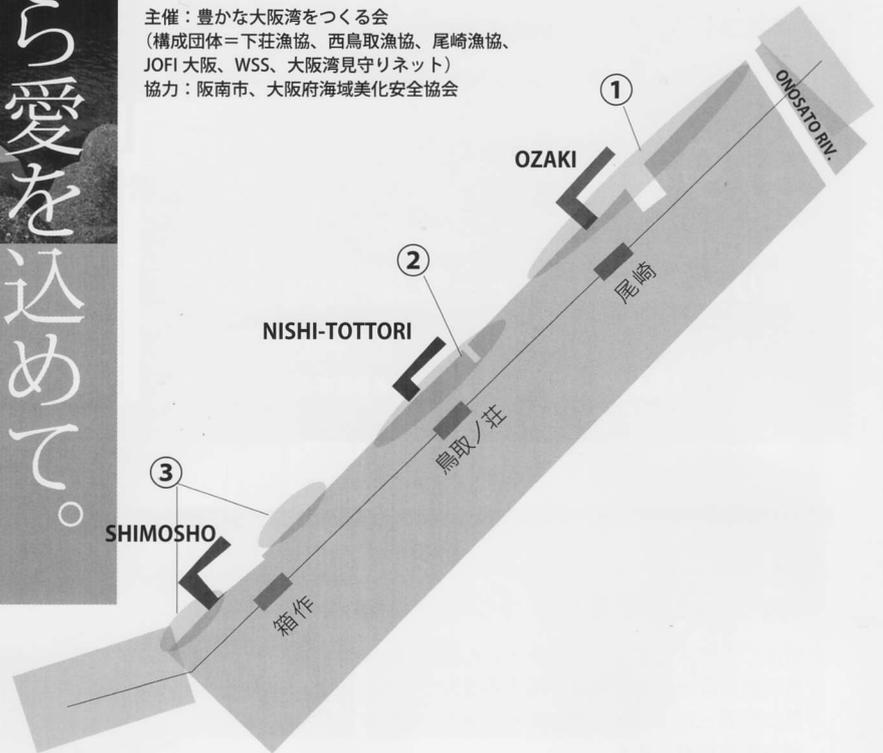
徒歩は当日参加 OK です！ 掃除用具あります。

主催：豊かな大阪湾をつくる会

（構成団体＝下荘漁協、西鳥取漁協、尾崎漁協、

JOFI 大阪、WSS、大阪湾見守りネット）

協力：阪南市、大阪府海域美化安全協会



参加申込書

名前（代表者）	参加人数
住所	
連絡先	

送り先：FAX=059-261-4770 Mail=jimukyoku@turibunka.or.jp